

2019年度（平成31年度）
事業計画書（案）

2019年4月 1日から

2020年3月31日まで

学校法人 豊中キリスト教会学園
幼保連携型認定こども園豊中愛光幼稚園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 豊中キリスト教会学園（平成元年4月1日法人設立）

代表者 理事長 倉光 弘己

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号

電 話 06-6853-9677

FAX 06-6853-9687

設置する学校

住 所 豊中市末広町1丁目2番28号

名 称 幼保連携型認定こども園 豊中愛光幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 5回開催

評議員会 3回開催

職 員 25名（常勤 17名 非常勤 8名）

2. 事業の概要

（認定こども園豊中愛光幼稚園）

《教育方針》

キリスト教精神に基づく、自由遊びを中心とした保育を進める。主体性と社会性、創造性と責任感を持った心身ともに調和のとれた子どもに成長するよう導く。

《教育内容》

遊び込みと異年齢保育による子どもたちのつながりの中から、自由に育ち、自由な発想と自ら考えて決める喜び、そして協調性を楽しむ心、神を愛し、人を愛し、自分を愛する子どもに育つように、安全できめ細かい保育と環境作りを行う。

《保育時間及び延長保育》

教育標準時間

1号認定こども

○保育時間 午前9時～午後2時 月曜日～金曜日 土・日曜日休園日

延長保育 午前8時～午前9時、午後2時～午後6時

2号認定こども・3号認定こども

○標準保育時間 午前7時～午後6時 月曜日～土曜日

延長保育 午後6時～午後7時

○短時間保育時間 午前9時から午後5時 月曜日～土曜日
 延長保育 午前7時～午前9時、午後5時～午後7時、月曜日～土曜日
 ≪2019年度園児数≫

2019年3月31日予想

	0歳児		1歳児		2歳児		クラス 数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	3	1	10	1	10	3	23
29年度	1	3	1	10	1	12	3	25
30年度	1	3	1	10	1	12	3	25
31年度	1	3	1	10	1	12	3	25
	3歳児		4歳児		5歳児		クラス 数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
利用定員	1	25	1	30	1	30	3	85
29年度	1	26	1	26	1	24	3	76
30年度	1	27	1	27	1	26	3	80
31年度	1	24	1	26	1	25	3	75

≪納付金≫

保育料 市町村の納税額に応じて、豊中市等市町村が定めた額。
 特定保育料 3歳以上クラスの入園者は、月額2,000円(10ヶ月)を施設
 設備充実費として納入する。

≪入園時の費用≫

事務手数料 5,000円

≪預り保育の内容及び費用≫

月～金曜日 午後2時～午後6時、夏冬春休み中の預かりも実施。
 2時間300円

≪行事予定≫

春(4月) 入園式、進級式、イースター、親子プレイデー、花の日、春の遠足
 夏 水遊び(プール)、お泊まり保育、夏期保育
 秋 芋掘り、秋の遠足、運動会、秋の実り礼拝、
 冬 クリスマス礼拝と祝会、お餅つき、芸術鑑賞会、お店屋さんごっこ
 春(3月) 春の訪れを喜ぶとき(ひなまつり)、お別れ会、修了式、卒園式
 毎月 誕生会
 毎週月曜日 特別礼拝

《施設関係》

敷地面積	763.90㎡	運動場面積	402.95㎡
園舎面積	539.89㎡	構造	RC構造

《設備関係》

防犯で求められる設備の整備、災害時を想定した備品類の整備。

《事業方針とその計画》

幼保連携型認定こども園として6年目を迎える。2018年度に改訂:幼保連携型認定こども園教育・保育要領が施行された。2019年度は、幼児教育無償化される。こどもを取り巻く社会の大きな変化が、さらに進んでいっている。質の高い教育・保育環境がより求められる。それを踏まえたうえでの事業計画実施に向けての取り組みが必要で、下記項目から事業計画を検討し、推進していく。

1. 豊中愛光幼稚園の質の向上に努める
2. 教育環境の改善と質の向上
3. 働きやすい職場環境の整備
4. 計画性を持った子育て支援の実現
5. 施設関係者評価の実施と第三者評価への取り組み

1. 豊中愛光幼稚園の質の向上

- ・ キリスト教精神に基づく教育・保育観の共有
- ・ これからの建設的な園の展望に向けた円滑な人間関係の継続的構築。
教職員自ら、園のパフレットやホームページを作成することで園の教育・保育方針を語れるようになり、園外への発信の在り方を模索する者となる。
- ・ チーム保育の充実のため、お互いの凸凹を認め合い、自分の与えられている役割に自信を持つ。
- ・ 外部評価取り入れに向けての園内研修の充実を図る。

2. 教育・保育環境の改善と質の向上

職員の採用状況は厳しいが、引き続き看護師の募集や保育教諭の人員を増やすことと余裕のある教育環境の充実を図る。また、施設面においては、こどもたちの育ちや保護者支援につながる環境整備を進めていく。

- ・ 隣接マンション内外の環境(棚の設置、備品購入等)を整備。
- ・ 屋上看板の取り換え。
- ・ シャトレーに取り付けてある橋の補修。

- ・ 吊り橋(大型遊具)の取り換え。
- ・ プール(幼児クラス)の購入。
- ・ 備品(幼児クラスままごと棚や制作棚、机など)の購入
- ・ 食事用食器の購入。
- ・ 教職員用靴箱と事務受付棚の購入 等

3. 働きやすい職場環境の整備

人材確保の取り組みから、職場環境整備に努める。職員の待遇改善や労働時間の遵守、業務上の役割の明瞭化等、働きやすい職場環境の改善を進める。

4. 計画性を持った子育て支援の実現

- ・ 前年度から進めている隣接マンションの一部屋の活用と実施。
- ・ 4事業(ひよこ、キンダーカウンセラー、子育て相談、うさぎ)の充実を図ること。
- ・ 卒園後の子どもの集い場と保護者支援に向けての取り組み。
- ・ 子どもの姿に合わせた講演会の実施と外部の講師をゲストスピーカーに招く機会の実現。

5. 施設関係者評価の実施と第三者評価への取り組み

園づくりの忌憚ない意見をもらう継続的な施設関係者による評価を毎年実施する。また、今後は第三者評価への取り組みとして、公開保育等の検討を推進していく。

<収支予算書> 別紙の通り

以 上